



発行 膳所まちづくり委員会
編集 情報発信部
膳所市民ニュース編集班
(膳所市民センター内 ☎077-524-2205)

特集 元気でよかったね

『ふれあいサロン』
活動報告から

膳所学区社会福祉協議会の助成事業に、自治会単位で実施されている『ふれあいサロン』があります。高齢者を孤独にしない、あるいは多世代で交流する場づくりを支援するために始められました。各町で取り組まれているサロンの内容からは、陰で支えている方も含めて、参加されている皆さんが、サロンを通じて町内での活動を楽しむ様子が伝わってきます。



おもちつき(東網町自治会)

記事は4月5日現在で各町から提出されている報告書をもとにまとめました。

季節ごとのお楽しみ

活動の中で最も多いのは、季節ごとのイベントです。地藏盆、ラジオ体操、納涼会、クリスマス会以外にも、東網町自治会では町内にある児童公園でお花見も行われました。御殿浜二区自治会では、納涼会のほか、秋には篠津川河口の湖岸でお月見会も開催、天体望遠鏡も用意して子どもたちに好評だったそうです。年末に行われるおもちつきも人気イベントのひとつ。北相模自治会でのおもちつきには、子ども用の臼と杵も用意し、60人が参加しました。



地藏盆(榑原自治会)

健康が第一

体験学習も多くの自治会で行われました。最も多いテーマは、健康づくりや健康相談、介護保険制度のしくみ説明などです。北大手自治会では、膳所すこやか相談所と膳所あんしん長寿相談所から講師を招いて、熱中症対策の話や聞き、認知症予防の体操などを和気あいあいとした雰囲気の中で楽しんでいます。

晴嵐二丁目2区自治会でも、一年を通じて「くつろぎサロン」を企画し、すこやか相談所の職員による研修やゲーム大会などを実施されました。別保一丁目1区と2区自治会では、平成27年7月から毎週2回、延べ100回に亘り「いきいき健康体操教室」を開催。参加者はこれまでに千人を超えています。

健康づくりのひとつとして、グランドゴルフも北相模町自治会や木下町自治会などいくつかの自治会で実施され、膳所学区体育振興会主催大会などにも積極的に参加しています。



防災訓練(木下町自治会)

防災や防犯も大事なテーマ

健康と並んで多かったテーマは防災や防犯でした。杉浦一区自治会では、南消防署員から消火器などの使い方を聞いたあと、救助のときに必要なロープの括り方などを実地研修。

木下町自治会では、南消防署員と町内を歩いて消火器や消火栓の位置確認、災害時避難路の安全確認などを行っています。そのほか、御殿浜三区自治会では、道で誰かが倒れていた時の救命方法。北大手自治会では、オレオレ詐欺、不用品押し買い、はがき架空請求、屋根防水改修工事詐欺など様々な詐欺事例への具体的な対処方法を学ぶ講座なども開かれました。

歌って学んで

ふれあいサロンでは、音楽会も開かれています。フォークコンサートを敬老の日に開催したのは上清水自治会。当日はアマチュアバンドを招いて70年代のフォークソングのコンサートでしたが、それまで静かだった参加者が盛り上がったのは古賀メロディーなど一昔前の60年代歌謡曲だったそうです。東網町自治会ではオカリナ演奏、御殿浜三区自治会では大津管弦楽団の演奏を生涯学習センターの音楽室で楽しみました。科学館のプラネタリウムに33人が見学したのは榑原自治会。別保一丁目1区2区では俳句教室も開かれました。



別保一丁目自治会

2か月ごとに木下会館で続けています。スタッフと相談しつつ、講座、おもちつき、お花見などを実施し、最近では近隣の自治会にも声掛けをして広がを見せています」

続けてきて「サロンに来られた方同士が、健康のことや近況を話されている姿は、非常に楽しそうですが、私たちにとっても、普段顔を合わせる機会が少ない高齢の方々と色々お話ができることは楽しいことです。また、顔を出されなかった人の様子がわかったりすることがあり、2カ月に1回ですが、『元気でよかったね』と確かめ合う場にもなっています」

運営は「自由に気軽にどなたでも参加できるサロンとなるように、回覧板でその都度、参加者を募っています。自治会からの援助もあり、年末のおもちつきには、若い世代や子どもたちも参加されて、世代間の交流の場にもなってきました」



コンサート(上清水町自治会)

膳所学区社会福祉協議会会長の吉村哲さんは、「ひとり住まいやひきこもりがちな高齢者の方に少しでも参加してもらおうと、各自治会で様々な工夫をされていることに敬意を表します。『ふれあいサロン』を通じて地域住民の交流が図られ、住みよいまちづくりにつながれば」と膳所全体が温かい気持ちでつながることを期待されています。

日頃の「親睦と交流」がなければ災害時など困った時に、助け合うこともできません。斎賀さんの言葉のように「自由に気軽に、元気を確かめ合える場」は、高齢者のみならず自治会の最も大切な姿なのかも知れません。

ともかく集まって

堅苦しい話ではなく、とにかく集まっておしゃべりしようという集まりも多くあります。茶話会であったり、文字どおり「おしゃべり会」などです。御殿浜二区自治会では「浜サミット」と名付けて年7回、お茶を飲んだり本多神社の花を見に行ったりしながら井戸端会議のような集まりを実施。北相模自治会のなかのサークル、みなづき会では囲碁や月に一回コーヒーサロンを開いて世間話に花を咲かせています。

元気でよかったね

東網町自治会で『ふれあいサロン』を実施されている斎賀治通さんは、現状を次のように話されました。

「『ふれあいサロン』を再開して3年。現在では

黄帽が希望

前号の市民ニュースで、小学校の黄帽廃止問題に膳所小Pが取り組んだことを記事にしましたが、その後、何人の方が支援を申し出てくださいました。今年の膳所桜まつりでも膳所小Pの有志「おやじ倶楽部」が膳所商店街などにも模擬店に出店し、黄帽の無償配布を継続させるための資金集めに汗を流しました。今後とも黄帽継続へのご支援をよろしくお願ひいたします。

